土木学会論文集編集委員会

土木学会論文集の編集ならびにそれに関連する業務を遂行することを目的とした委員会

土木学会論文集のPDF投稿を支援する「Word自動組版ツール」の並行運用を開始します（10月1日～12月31日）

図1 「Word自動組版ツール」の入り口画面

土木学会論文集編集委員会では、投稿査読システムのリニューアルに続き、投稿者の9割以上がマイクロソフト社のMS-Word（以下Word）を使って投稿している現状を踏まえ、投稿用PDFの作成支援システム＝Wordが標準で備えている「スタイル」機能を活用した「Word自動組版ツール」のテスト運用を行ってきましたが、実用化に達したと判断し、10月1日より従来のPDF投稿受付と並行して「Word自動組版ツール」による投稿受付を開始いたします。将来的には「Word自動組版ツール」を主たる投稿受付機能として一元化を図っていく予定です。Wordを利用している皆様におかれましては、このシステムへの早めの切り替えを準備願います。

「Word自動組版ツール」の特徴

（1）Wordファイルから査読・登載用PDFを生成することができます。

（2）Wordのスタイル機能を活用し、著者が自ら段組やフォント指定など細かなレイアウトを作成することなく、テキストにスタイルを指定していくことで投稿要領に沿ったPDFを生成します。

（3）同時に、スタイル指定をすることで、自動的にJ-Stage用書誌情報を生成します。

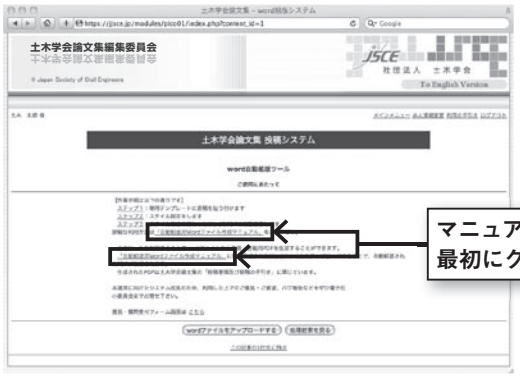

図2 「Word自動組版ツール」のトップ画面

「Word自動組版ツール」の作業手順

最初に必ず「自動組版用Wordファイル作

成マニュアル」を開き、最後まで目を通してください。続いて、以下のステップを実行します。

ステップ1：Word用の専用テンプレートをダウンロードしテキスト原稿を貼り付けます。

⬅

ステップ2：テンプレートのWordファイルに表示されるスタイル指定をします。

⬅

ステップ3：スタイル指定の終わったWordファイルをアップロードしPDFに自動変換します。

（注）最初は「トライアル用」で何回かトライ&エラーを繰り返します。エラーがなくなったら「確定用」に進んで最終版を作成し、ダウンロードしたうえでそのPDFファイルを投稿画面にアップロードします。

ステップ1　テンプレートのダウンロード

ステップ2　スタイルの指定

ステップ3　PDF変換

図3　「Word自動組版ツール」を利用したPDF作成までのステップ

「Word自動組版ツール」のメリット

①レイアウトを意識する必要はありません

投稿者は論文作成時にはレイアウトを意識する必要はありません。テキストはそのまま（フォントやポイント、位置などを気にすることなく）ベタ打ちしておき、jpeg形式で画像ファイル化した図・表・写真はテキストの関係の深い行の位置に改行して貼り付けておき、最後に所定のスタイルを指定するだけで、自動的にシステム側で投稿要領に沿ったレイアウト作成を行います。

②要領に沿っていない場合には当該個所のエラーを表示します

スタイル指定したWordファイルに指定漏れなどがある場合には、変換結果画面やPDF内にエラー表示やマーカー表示で注意を喚起します。

③何度でも繰り返しチェックできます

要領に合うまで何度もトライアルができ、満足のいく仕上がりとなるまでチェックができます。

④J-Stage用書誌情報ファイルを自動生成します

スタイル指定をすることで、J-Stage用書誌情報ファイルを自動生成しますので、論文公開までの時間の短縮を図ることができます。

⑤レイアウトに関する校正が不要となります

フォントや行間などの要領に定めた修正などこれまで校正専門業者を介して行っていたレイアウトに関する校正作業が不要となり、論文公開までの時間の短縮を図ることができます。

⑥PDF作成のための専用ソフトが不要となります。

Wordファイルから自動でPDFを作成するので、これまで投稿者の側で用意いただいたPDF作成専用ソフトは不要となります。

これらを通じて、編集作業の効率化と経費削減を図ることができます。

今後の段階的運用案

以下のような案で進める予定です（詳細は続報として学会誌にてお知らせします）。

（1）投稿者による試用運用期間（8／23～9／30 実施済み）

この期間に、実用化に向けた改良を進めるために、実証実験を実施させていただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

（2）並行運用期間（10／1～12／31）

従来の投稿者自身が作成したPDFファイル、「Word自動組版ツール」で作成したPDFのどちらでも正式な投稿ができます。この期間以後は「Word自動組版ツール」作成のPDFファイルのみとなりますので、切り替えのための準備期間とし、こちらの利用を推奨します。

（3）本運用期間（2011年1／1以降）

正式な投稿は「Word自動組版ツール」作成のPDFファイルのみを受付けます（本ツールをご利用いただけない場合、別途対応予定です（一部有料予定））。